

2020年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年6月12日

上場会社名 アートグリーン株式会社 上場取引所 名
 コード番号 3419 URL <http://www.artgreen.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 豊
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理部長 (氏名) 芝田 新一郎 (TEL) 03-6823-5926
 四半期報告書提出予定日 2020年6月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年10月期第2四半期の連結業績(2019年11月1日～2020年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年10月期第2四半期	959	△4.3	△0	—	△4	—	△10	—
2019年10月期第2四半期	1,002	—	29	—	28	—	16	—

(注) 包括利益 2020年10月期第2四半期 △10百万円(—%) 2019年10月期第2四半期 16百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年10月期第2四半期	△9.13	—
2019年10月期第2四半期	14.67	14.09

(注) 2020年10月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式が存在するものの1株当たり四半期純損失であるため、記載はしていません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年10月期第2四半期	901	434	48.2
2019年10月期	889	444	50.0

(参考) 自己資本 2020年10月期第2四半期 434百万円 2019年10月期 444百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年10月期	—	0.00	—	—	—
2020年10月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年10月期の連結業績予想(2019年11月1日～2020年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 2019年12月12日に公表いたしました2020年10月期の通期連結業績予想は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響を現段階において合理的に算定することが困難であることから一旦取り下げ「未定」とさせていただきます。今後、先行きが見通せる状況となりましたら、適時情報開示してまいります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
 (注) 詳細は、添付資料P.11「2(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年10月期2Q	1,132,958株	2019年10月期	1,128,400株
② 期末自己株式数	2020年10月期2Q	242株	2019年10月期	242株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年10月期2Q	1,130,384株	2019年10月期2Q	1,127,771株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があり、将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。なお、業績予想に関する事項は、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う外出自粛や入国規制によるインバウンド需要の減少などにより、大幅に悪化しております。また、海外におきましても同感染症の収束の見通しが立たないことにより景況感を下押し、欧米各国の経済成長が大幅に減速することが懸念されるなど、先行き不透明感がより一層強まっております。

花き業界においては、3月から4月にかけてが最大需要期であるため、同感染症の感染拡大の影響により、各式典やイベント等の中止・延期が相次いだことから、業界全体の流通量は大幅に減少しました。東京都中央卸売市場の市場統計情報によると、2020年2月から2020年4月までの、らん鉢取扱金額は917百万円（前年同期比23.5%減）、数量では316千鉢（前年同期比10.6%減）と、いずれも前年同期比を下回る傾向で推移しております。

このような事業環境の中、フラワービジネス支援事業は、同感染症の感染拡大の影響により、ブライダルをはじめ各種イベントの中止及び延期が相次ぎ、受注が大幅に減少いたしました。主力の法人贈答用胡蝶蘭につきましても、政府の緊急事態宣言後は、当社グループも営業時間の短縮や人員を最小限にする等、可能な限り自粛体制下での対応で営業を継続いたしました。売上高は市場統計同様に前年同期比を下回りました。

ナーセリー支援事業におきましては、引き続き提携農園の生産指導に注力し、売上高は堅調に推移いたしました。しかしながら、提携農園をはじめ各生産者は年間計画に基づいて生産量を調整しているため、同感染症による需要減小の影響は、栽培数量並びに出荷数量の調整を余儀なくされてくるものと思われまます。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は959,775千円（前年同期比4.3%減）、営業損失653千円（前年同期は営業利益29,354千円）、経常損失4,035千円（前年同期は経常利益28,239千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失10,324千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益16,539千円）となりました。

(フラワービジネス支援事業)

フラワービジネス支援事業につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を大きく受け、結婚式の中止及び延期等、ブライダルの婚礼組数が激減しました。また、卒業式や入学式、歓送迎会や入社式等様々な式典やイベントの中止も相次ぎ、法人贈答用胡蝶蘭の売上も影響を受けました。

以上の結果、フラワービジネス支援事業の売上高は643,725千円（前年同期比9.4%減）となりました。

(ナーセリー支援事業)

ナーセリー支援事業につきましては、引き続き提携農園の生産指導、及び復興事業の一環として取り組んでおります。胡蝶蘭栽培での農業再生支援の強化に注力いたしました。

例年3月から4月にかけて最大需要期を迎える花き業界ですが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、全国的な経済活動の自粛の中、花きの需要が激減したため、市場の相場も大幅に下落し、各生産者は大打撃を受けました。そのため、全国の生産者が今後の生産数量を調整することが予測されますので、状況を確認しながら早めの対応と各生産者との情報共有に取り組んでおります。

以上の結果、ナーセリー支援事業の売上高は263,556千円（前年同期比14.7%増）となりました。

(フューネラル事業)

フューネラル事業につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、葬儀の中止や身内だけで最小限の葬儀にする等、売上にも大きな影響を受けました。

葬儀業界の環境としましては、大都市圏を中心に葬儀件数は増加する一方、依然として家族葬や密葬等、葬儀の小

型化により葬儀単価は減少傾向にあり、当社におきましても単価の下落傾向が続いております。

今後は地方都市におきましても同傾向が顕著化していくものと考えられますので、引き続き変化していく葬儀業界全体の環境に柔軟に対応していくために、既存取引先や葬儀業界関係会社との情報共有に取り組んでおります。

以上の結果、フューナラル事業の売上高は52,493千円（前年同期比16.3%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（総資産）

当第2四半期連結会計期間末における総資産は901,190千円となり、前連結会計年度末と比べ11,713千円増加しました。

流動資産は761,785千円となり、前連結会計年度末と比べ18,058千円増加しました。その主な要因は、受取手形及び売掛金が12,444千円、商品が6,170千円、その他に含まれております前渡金が4,058千円それぞれ減少し、貸倒引当金が3,245千円増加した一方で、現金及び預金が6,989千円、仕掛品が37,001千円増加したことによるものであります。

固定資産は139,405千円となり、前連結会計年度末と比べ6,344千円減少しました。その主な要因は、無形固定資産のその他に含まれておりますソフトウェア仮勘定が5,499千円、投資その他の資産のその他に含まれております繰延税金資産が2,074千円それぞれ増加した一方で、投資その他の資産のその他に含まれております長期性預金が5,600千円、投資その他の資産のその他に含まれております投資有価証券が2,990千円、投資その他の資産のその他に含まれております敷金及び保証金が2,026千円、のれんが1,540千円それぞれ減少したことによるものであります。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は466,670千円となり、前連結会計年度末と比べ21,654千円増加しました。

流動負債は283,347千円となり、前連結会計年度末と比べ28,064千円減少しました。その主な要因は、1年内返済予定の長期借入金が17,353千円増加した一方で、未払法人税等が22,506千円、買掛金が9,481千円、その他に含まれております未払金が8,299千円それぞれ減少したことによるものです。

固定負債は183,322千円となり、前連結会計年度末に比べ49,718千円増加しました。その主な要因は、社債が10,000千円減少した一方で、長期借入金が60,616千円増加したことによるものであります。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は434,520千円となり、前連結会計年度末と比べ9,940千円減少しました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失10,324千円を計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、経済の急激な悪化が生じておりますが、その収束の時期や影響の程度は見通せず、先行きは極めて不透明な状況となっております。さらに、4月の特別措置法に基づく緊急事態宣言発令により、当社も営業時間の短縮、人員を必要最小限にする等、従業員の感染防止対策を行う等対応しております。

当第2四半期連結会計期間においては、3月度より同感染症の感染拡大による企業の営業活動の自粛や抑制、ブライダルをはじめとした冠婚葬祭に関わる各種イベントの中止及び延期等により、花き業界全体の需要は大幅な減少を余儀なくされ、当社グループにおいても売上高及び収益が減少いたしました。また、花き需要見込みが不透明な状況の中、当社の提携農園においては、4月度に商品化直前の胡蝶蘭苗の生産量を抑制する調整を行い、棚卸評価損5,273千円を特別損失に計上するなど、ナーセリー支援事業に少なからず影響が出てきております。またフューネラル事業につきましても、葬儀の中止や参列自粛等による葬儀規模を最小限にした葬儀の増加に伴い、葬儀用花き需要の減少が続いております。

今後、国内における同感染症の感染拡大が長期化もしくは深刻化した場合、当社グループにおいては厳しい事業環境が続くものと予想されますが、花き商品の消費を促す営業活動やコスト削減活動をはじめとするあらゆる挽回策を講じていく所存です。しかしながら、現時点では未確定要素が多く、適正かつ合理的な業績予想の算出が困難な状況であるため、2019年12月12日に公表した2020年12月期の通期連結業績予想は、一旦取り下げ「未定」とさせていただきます。今後、先行きが見通せる状況となりましたら速やかに適時情報開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	352,115	359,105
受取手形及び売掛金	233,831	221,387
商品及び製品	37,703	31,532
仕掛品	102,885	139,886
原材料及び貯蔵品	74	74
その他	31,524	27,451
貸倒引当金	△14,407	△17,652
流動資産合計	743,727	761,785
固定資産		
有形固定資産	18,188	16,570
無形固定資産		
のれん	28,503	26,962
その他	5,082	9,577
無形固定資産合計	33,585	36,540
投資その他の資産		
その他	105,854	95,272
貸倒引当金	△11,879	△8,979
投資その他の資産合計	93,975	86,293
固定資産合計	145,749	139,405
資産合計	889,476	901,190
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	71,108	61,626
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	84,244	101,597
未払法人税等	28,321	5,814
賞与引当金	17,659	16,068
株主優待引当金	2,147	534
その他	87,931	77,707
流動負債合計	311,412	283,347
固定負債		
社債	40,000	30,000
長期借入金	87,910	148,526
その他	5,693	4,796
固定負債合計	133,603	183,322
負債合計	445,015	466,670

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	139,732	140,108
資本剰余金	91,717	92,093
利益剰余金	212,352	202,028
自己株式	△465	△465
株主資本合計	443,337	433,764
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,123	755
その他の包括利益累計額合計	1,123	755
純資産合計	444,460	434,520
負債純資産合計	889,476	901,190

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年11月1日 至2019年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年11月1日 至2020年4月30日)
売上高	1,002,756	959,775
売上原価	568,341	560,755
売上総利益	434,414	399,020
販売費及び一般管理費	405,060	399,673
営業利益又は営業損失(△)	29,354	△653
営業外収益		
受取利息	39	44
受取配当金	67	64
持分法による投資利益	106	—
その他	221	302
営業外収益合計	434	411
営業外費用		
支払利息	670	632
持分法による投資損失	—	2,460
その他	879	700
営業外費用合計	1,550	3,792
経常利益又は経常損失(△)	28,239	△4,035
特別利益		
受取出向料	1,775	—
特別利益合計	1,775	—
特別損失		
たな卸資産処分損	—	5,273
特別損失合計	—	5,273
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	30,014	△9,309
法人税、住民税及び事業税	12,989	2,927
法人税等調整額	204	△1,912
法人税等合計	13,193	1,015
四半期純利益又は四半期純損失(△)	16,820	△10,324
非支配株主に帰属する四半期純利益	281	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	16,539	△10,324

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	16,820	△10,324
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28	△368
その他の包括利益合計	28	△368
四半期包括利益	16,848	△10,692
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,567	△10,692
非支配株主に係る四半期包括利益	281	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	30,014	△9,309
減価償却費	4,020	2,620
のれん償却額	770	1,540
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,466	345
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,487	△1,591
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△1,428	△1,612
受取利息	△39	△44
受取配当金	△67	△64
支払利息	670	632
社債利息	81	59
為替差損益(△は益)	215	639
持分法による投資損益(△は益)	△106	2,460
営業保証金の支出	△150	—
売上債権の増減額(△は増加)	△52,951	12,444
たな卸資産の増減額(△は増加)	△47,164	△30,830
仕入債務の増減額(△は減少)	10,449	△9,481
前渡金の増減額(△は増加)	—	4,058
前払費用の増減額(△は増加)	292	—
未払金の増減額(△は減少)	11,104	△6,799
未払費用の増減額(△は減少)	1,784	△634
その他	△1,938	1,287
小計	△40,490	△34,279
利息及び配当金の受取額	143	146
利息の支払額	△666	△725
法人税等の支払額	△1,058	△23,833
法人税等の還付額	5,447	138
営業活動によるキャッシュ・フロー	△36,624	△58,554
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△4,313	△5,118
定期預金の払戻による収入	1,800	9,203
有形固定資産の取得による支出	△5,974	△1,500
無形固定資産の取得による支出	△885	△5,499
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△25,119	—
敷金及び保証金の差入による支出	△3,263	—
敷金及び保証金の回収による収入	—	263
保険積立金の積立による支出	△1,586	△1,586
投資活動によるキャッシュ・フロー	△39,341	△4,235

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	—	752
長期借入れによる収入	140,000	140,000
長期借入金の返済による支出	△49,395	△62,031
リース債務の返済による支出	△444	△455
社債の償還による支出	△10,000	△10,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	80,160	68,265
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,194	5,475
現金及び現金同等物の期首残高	227,726	213,032
現金及び現金同等物の四半期末残高	231,920	218,508

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

連結子会社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。